

あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 216

平成28年8月1日
熊本県立図書館発行

“レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

Q. 8月に見られたペルセウス座流星群をうっかりしていて、見る事ができませんでした。
こういった天文ショーを事前に知ることができますか？



A. 『天文年鑑 2016年版』①には、2016年に起きる天文現象が載っています。子ども向けには、『藤井旭の天文年鑑』②もあります。

ペルセウス座流星群は、周期135年でめぐるスウィフト・タートル彗星がまき散らしていったチリの大群が地球の大気に突入することで見えるため、偶然目にする流れ星（散在流星）とは違い、予測ができます。今年は、8月12日が最も多く見られる日でした。なお、ペルセウス座の名前が付いているのは、流星群の出現時期が7月下旬～8月頃で、ペルセウス座から飛び出すように見えるからです。それは、まるでギリシア神話の勇者ペルセウスの剣が輝いているかのようです。

ちなみに、10月22日頃にはオリオン座流星群が、また11月17日には獅子座流星群が極大を迎えるそうです。どちらも前後数日間は、神秘的な天文ショーが楽しめそうです。

【参考になる図書】

- ① 天文年鑑 2016年版 天文年鑑編集委員会編 誠文堂新光社 2015年刊 R440.5/㊦/16
- ② 藤井旭の天文年鑑 藤井旭著 文堂新光社 2015年刊 440/㊦
- ③ 観察して楽しむ天体入門 沼澤茂美他著 誠文堂新光社 2012年刊 442/㊦
- ④ 宇宙のなぞ・65の発見 ポール・マーディン著 岩波書店 2012年刊 440.2/㊦
- ⑤ スターウォッチング入門 藤井旭著 地球丸 2005年刊 442/㊦

【ギリシア神話】

- ⑥ ギリシア神話 石井桃子編 あかね書房 1988年刊 913/㊦
- ⑦ 少年少女文学館 1 ギリシア神話 アポロ-ト著 講談社 1988年刊 908/㊦/1
- ⑧ ギリシア・ローマ神話 ブルフィン著 岩波書店 1991年刊 164.3/㊦
- ⑨ 星と星座の伝説 秋 瀬川昌男著 小峰書店 2008年刊 443/㊦/3
- ⑩ ギリシア神話 ペルセウスの書 齊藤洋著 理論社 2009年刊 991/㊦/2
- ⑪ 図説ギリシア・ローマ神話文化事典 牒・マルカ著 理論社 1997年刊 164.3/㊦ 等

※参考になるサイト 国立天文台：www.nao.ac.jp/



おといあわせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4212 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp